

令和3年度 多摩市一般会計補正予算第13号について、フェアな市政を代表し、意見討論いたします。

本補正予算のうち、継続費補正、土木費、道路橋りょう費、道路整備事業、市道5-35号歩線道路改良工事、いわゆるレンガ坂の改修工事について申し上げます。

本件については、議会において、質疑もなく、全会一致による工事契約議決まで経ていたものを改めなおすという提案です。私たち議会が、そもそも、工事内容を確認し、予算も認めてきた改修工事であり、本工事の一番目的は安全対策であり、歩行者と自転車の交錯を軽減すること、また、近年の台風による倒木被害を踏まえた対策を優先することであったはずで

す。コロナ禍もあり、周辺地域への説明が十分ではなかったと振り返る声もあるのかもしれませんが、手続きとしての市民参加がおざなりにされていたわけではなく、利用者、市民の声が全く無視されていたと言い切ることもできません。仮に、コロナ禍を要因とした不十分さがあったにせよ、そのような経過を議員である私たち一人ひとりには認識していたはずですし、そのことを確認したうえで、議決に臨んだのではなかったでしょうか。

ところが、昨年10月の工事説明会を機に、市民の皆さんの工事内容に対する疑義が生じたこともふまえて、今回の工事内容の変更に至ることとなりました。私たち議会はこのことをどう受け止めるべきなのでしょう。私たちの「議決責任」とは何なのか、あの議決は一体何だったのかと振り返らざるを得ません。コロナ禍であるかどうかに限らず、私たち議員は、「市民は議会における議決結果を後から知ることの方が多い」という現実、事実と向き合いながら日々活動しているはずで

す。そして、市民に議員としての説明責任を果たすことができるよう、議決の前には調査をし、市民の声を聴き、議決に臨んでいると思います。その責任と覚悟がまるで軽んじられたかのような梯子を外された気持ちで残念です。

今回の提案については、不測の事態への対応もあり、また、今日までに至る経過を受け止め、議会からも一部、後だしじゃけんのように、市民との合意形成の不十分さを指摘する声もありました。新たな改修方針が提案されてきた限り、私たちもそれを踏まえた判断をしなければなりません。

しかし、優先ゾーンの取りやめ、レンガ坂並木のユリノキを残すことなど市民との協議のうえで提案されてきた事項については全て実行すべきなのかは疑問です。しかし、残すユリノキの寿命が気になり、また、歩行者の安全確保問題で自転車レーンを設置しないという判断で本当によかったのか気になります。また、レンガ坂のレガシーを残す、アスファルト舗装にレンガの趣を付け加えるなど新たな工事内容も示されていますが、それらがどこまで必要な対応と言えるのか、せっかくお金をかけて実施をしても、結果、中途半端な工事しかできずに終わってしまうような小手先の対応はやめていただきたい。アスファルト舗装にレンガの模様をつけて「レンガ坂」にすることを市民は望んでいるのでしょうか。重厚感があり、気品あるレンガの風情あつての「レンガ坂」ではないものになることが正確に理解されているのでしょうか。レガシー広場についても、その設えが、周辺一帯、公園なども含めたりリニューアルデザインの中に溶け込み、景観ともにセンス良く調和していくものになっていくのかなど、費用をかけた以上の結果

が得られるものでなければ、納得されないと考えますし、私も納得できません。レンガ坂の風情をレガシーとして残せる場所は他にもあるのではないかと考えます。レンガ坂とつながるパルテノン多摩の大通りもあります。

今回、新たに提案されている工事内容ですが、「これなら、やらないほうがよかった」というような中途半端な工事になってしまったら、本末転倒です。すでに、強剪定されたユリノキがいつしかレンガ坂の美観に彩を添えてくれるのだろうか…懸念しています。いずれにせよ、本来工事目的としていた安全確保が達成できないようなことにならないようにしていただきたい。

そもそも、私たち議員は大所高所から判断し、契約議決まで終えてきました。その時には責任をもって判断をしたはずですし、工事内容を確認する予算審議の段階で、質疑をしたかどうかにかかわらず、レンガ坂が抱えていた問題を認識してきたはずで

す。契約議決まで終えた工事の内容を変更することがイレギュラーな対応ですが、いずれにせよ、のちのちの維持管理費用のことも考えた最善策を尽くしていくべきです。

私たちの会派は、これまで多摩市は国や東京都基準の都市基盤の維持管理に悩まされてきた現実を直視し、今後、人口減少社会も見据え、こうした大規模改修などのタイミングにあっては、後年度負担の軽減にもきちんと目を向けた対応が必要だと考えています。改めて、今回の工事にあたっては、この点を市民とも共有しながら、検討が進められてほしいことも強く要望し、可決の討論といたします。